

2. 個乳検査成績

(1) 個乳成分検査成績

生産者団体の乳代配分に係わる個乳の成分検査をインサイダー67 農協ならびにアウトサイダー5 生産者団体について実施しました。

また、乳中尿素態窒素（MUN）検査情報を提供しました。

ア. 方 法

(ア) 試 料

個乳検査の申請のあった戸別生産者の生乳を対象としました。

(イ) 検査回数

旬間1回以上

(ウ) 検査項目および方法

- a. 脂肪率・・・・・・・・・・光学式乳成分測定機によりました。
- b. タンパク質率・・・・・・・・・・”
- c. 無脂固形分率・・・・・・・・・・”
- d. 乳中尿素態窒素・・・・・・・・・・”

イ. 結 果

(ア) 表10に月別および事業所別の個乳成分検査検体数を示しましたが、年間で150,039検体、月平均で12,503検体の検査を実施しました。

(イ) 事業所別個乳成分検査乳量は、表11に示すとおりインサイダー2,486,910,728.1kg、アウトサイダー24,825,156.0kg、合計2,511,735,884.1kgでした。

年間成分検査平均値は表17のとおり、脂肪率3.978%、タンパク質率3.321%、無脂固形分率8.759%でした。

また、平成28年度末の検査受託農家数（インサイダー）は4,091戸、シェア72%（乳量比66%）でした。

(ウ) 表12に試料ごとの個乳成分率の分布を示しました。各成分率の分布は、脂肪率3.70%以上の区分で92.4%、タンパク質率3.00%以上の区分で99.4%、無脂固形分率8.50%以上の区分で95.3%、全固形分率12.20%以上の区分で96.5%を占めました。

また、乳中尿素態窒素（MUN）の検査結果については、MUNの基準値10~14mg/dℓの範囲で61.2%、14mg/dℓを超える範囲では10.3%でした。